

## 岩手県久慈市 「ロケツーリズム」による観光振興に顕著な成果

本州一の広大な面積を有する岩手県は、各地域で四季折々に違った表情を見せる。東日本大震災からの復興は道半ばだが、9月20日開幕するラグビーワールドカップは釜石市の釜石鶴住居復興スタジアムでも試合が行われる。来県する外国人観光客は増加傾向にあり、2020年東京五輪も見据えて各地が多言語の対応力を高め、観光振興に結び付けている。

いわて観光統計によると、17年に本県を訪れた外国人観光客は約26万人回。前年比で9万7千人回ほど増えた。13年NHK連続テレビ小説「あまちゃん」ロケ地の久慈市は、放送から5年が過ぎた今も国内外から根強い人気がある。国外では台湾を主としたアジア圏や欧米から観光客が訪れている。

沿岸北部に位置する久慈市の小袖海岸は「北限の海女」文化が根付き、毎年夏の素潜り実演が人気。また、かつては京都や奈良に運ばれ、大和朝廷で珍重されたとされる琥珀の産地日本一を誇る。これらはあまちゃんにも登場し、久慈市は映画やドラマの舞台としてPRする「ロケツーリズム」による観光振興を展開中。ロケ地ツアーの企画、市民ガイドの育成、多言語化した観光案内板設置を進めている。

ロケ地となった地域で「行きたいまち」を決める第4回全国ふるさと甲子園(18年8月)では、久慈市が全国の参加55自治体中4位に入賞した。18年度の観光庁「第2回ロケツーリズムアワード」の地域大賞にも選ばれ、一大ブームを巻き起こしたドラマ効果を最大限に活用している。

本県沿岸はドラマで「北三陸鉄道」のモデルになった三陸鉄道が走る。東日本大震災の津波で被災したJR山田線(宮古―釜石間)が3月23日に三陸鉄道に運営移管され、国内第三セクター鉄道では最長の「リアス線」(163キロ)が誕生する。その北側の起点が久慈市。三陸の海産物を味わいながら、リアス海岸を望むローカル鉄道の旅も一興だ。

岩手日報社 久慈支局長 小野寺卓朗



復興した三陸鉄道 十府ヶ浦海岸駅



北限の海女文化が根付く久慈市の小袖漁港